

**釧路港発 海と街をつなぐ「コンブの森」  
地産地活プロジェクト**  
**(申請者：釧路ガス株式会社・株式会社JBP)**

**釧路ガス株式会社**

**株式会社JBP** **ジャパンブルーカーボンプロジェクト**

# 北海道釧路地域の概要

- ・北海道東部の政治経済の中心都市
- ・人口 約15万1千人(道内6位)
- ・釧路湿原国立公園と阿寒摩周国立公園の2つを有する都市



人口	151,375人(R8.1.31)
世帯数	90,511世帯(R8.1.31)
面積	254.15平方キロメートル
年平均気温	8.7℃(R7)



# 会社概要



設立	1936年11月17日（創業90年）
拠点	本社（釧路市寿4丁目1番2号） 仲浜工場、桜ヶ岡工場
従業員数	99名
供給エリア	釧路市、釧路町（一部）

## 都市ガス事業



自社工場から約68,000件に  
パイプラインにより天然ガス供給



## 電力販売事業



【釧路ガスのでんき】  
約8,200件お申込み ※2019年より受付開始

# プロジェクトの概要

## 構想

2023年5月、釧路港でロープ式での『昆布の森』造成を決定

## 実行

地元都市ガス事業者として脱炭素推進で釧路市のゼロカーボンに貢献

ブルーカーボンを創出し地元でのオフセット「地産地活」を実現し次世代へ環境教育を推進

### 環境教育の実施

・2024年12月、「環境問題を"自分ゴト"に」をテーマに地元小学生向け参加型環境教育を実施。

### 地域還元の実施

・2025年度、釧路市東部漁協の地域初J-ブルークレジットを購入し、地元イベントでオフセットを実施。



授業の様子



育成したコンブ



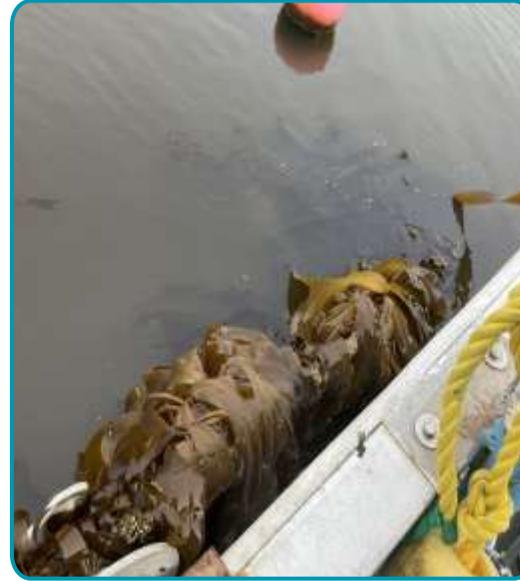
くしろ港まつりパレード  
(パレード開催分に関わるCO2をオフセット)

# プロジェクトの概要—生育状況

2024年12月



2025年8月



2025年4月



# 環境教育授業の様子

## 実施

・2024年12月、「環境問題を”自分ゴト”に」をテーマに地元小学生向け参加型環境教育を実施



## 今後

・2026年度も継続し、ブルーカーボンから藻場育成まで横断的に学習することで、子供たちの理解を深化させる。



授業に係る CO<sub>2</sub>排出量を算定し  
(電力・ガス使用量、人の移動等)  
これを釧路ガス「昆布の森」  
J-ブルーカーボンクレジットで  
同量をオフセットする予定。

**ーゼロカーボン授業予定ー**



# 釧路ガスが目指す姿

漁業支援

地域創生活  
活性化

域内循環

ブルーカーボンに  
関する環境整備

ビジネスモデルの  
構築

大気中の  
CO<sub>2</sub>

昆布が吸収

HOP  
01

**GAS** 釧路ガス

CO<sub>2</sub>吸収価値を  
カーボンクレジット化

J-ブルークレジット創出

カーボン・オフセット都市ガスと  
しての供給や地域のイベントで活用

J-ブルークレジット活用



STEP  
02



JUMP  
03

釧路市の  
『ゼロカーボンシティ宣言』に貢献



脱炭素×地域漁業

『地産地活モデル』の確立を目指す！